

## 火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

今年の5月は3年ぶりに自粛制限のないゴールデンウィークとなり、私達の運営する店舗も多くのお客様に来店していただきました。4月15日に「からあげ本舗まるたま石井店」のオープン、4月29日には「元祖佐野ちゃんぽん とかの結城店」をオープンすることができました。無事にゴールデンウィークを乗り越えられたこと、そして多くのお客様に喜んでいただけた店を作れたことを嬉しく思います。

それと知っている人も多いとは思いますが、5月8日をもって「うまいラーメンサンドラ 犬塚店」が契約満了のため閉店しました。多くの人に愛される店、地域の人に愛され続ける店、そんな店を私は創っていきたくて、いつも社員に話しています。愛される店とは？閉店するとき、答えを表してくれるもので、今回の犬塚店は閉店が決まってから、犬塚ファンが連日のごとく足を運んでくれ、過去最高のお客様の数で記録を更新し続けていました。私も最終日にサンドラに行きましたが、愛された店、必要とされた店を目で見て感じる事ができ、感動で涙が出てきてしまいました。

お客様から愛される店は、必ずお客様から愛されているスタッフが居ます。改めてサンドラ犬塚店の様に地域に愛される人創りをして、地域一番店を創っていきます。サンドラの皆さん、そしてサンドラを支援してくれた皆さんありがとうございました！

さて、今月の社長からの手紙は、初任給をもらう新入社員に対して毎年送っている親孝行手当に関する方針を書いてみたいと思う。火の魂カンパニーでは毎年継続して新入社員に対して「親孝行」というテーマで、親孝行手当を支給している。

社会的には20歳を一つの区切りで「大人」の仲間入りするには見えるが、私が考える大人とは社会に出て働く社会人を指す。その人生の中で大きな節目に育ててくれた人に感謝の気持ちを伝えることは本当に大切なことである。当たり前なことを当たり前でできる人もいれば、照れて行わない人もいるのも事実です。※私も照れて曖昧にしていた過去がありますが……。とは言え、過去にかなしく泣いたこと、思いっきり笑ったこと、悔しかったり、怒ったり、悩んだり、感動したり全ては産んでくれた人がいるから今があるし、これからの未来があるのです。社会に出るまでは、私もそうですが親を心配させたり苦勞かけたりと沢山面倒を見てもらいました。みんなが赤ちゃんの時は親が面倒を見てくれたから学校にも行けたし社会人にもなれたのです。社会に出るということは、いつか親が年老いた時に子が親の面倒を見る力をつけるために働くという意味でもあります。新入社員は、この親孝行手当の想い（理念）を体現し必ず実施してください。社会に出てお世話になった人、支えてくれた人に「恩返しをする」このような考え方の人は必ず社会で活躍し、人に良い影響を与える存在になります。

人生で大切な節目だからこそ、大切なことを、想いを込めて、感謝の気持ちを伝えよう。一番大切な身近な人に「良い影響を与える」私はそんな当たり前な会社を創りたい。